



年 組 名前

巨大 閻魔大王 鬼従え練り歩く

登別温泉

【登別温泉】登別市の登別温泉街で30日、第62回登別地獄まつり（市、登別国際観光コンベンション協会主催）が開幕した。普段はお堂に納められている高さ約6メートルの「エンマ大王からくり山車」が温泉街を練り歩き、観客を楽しませた。

同まつりは登別温泉の景勝地「地獄谷」の地獄の釜が年に1度開き、閻魔大王が鬼を連れて温泉街に現れるとの設定。今年は会場周辺の渋滞緩和を目的に、臨時駐車場を1カ所増やし計3カ所としたほか、初めて駐車料金を有料化し、5000～2千円を徴収している。

目玉のからくり山車は午後5時半過ぎに登場し、山車の上の閻魔大王が真っ赤な怒りの表情に変わると、沿道から歓声や子どもの泣き声があがった。家族と訪れた札幌市の小学2年、Aさん（8）は「目玉が動いて光るところが怖かった」と驚いていた。

最終日の31日も午後5時半からからくり山車が練り歩く。最後は約2千発の打ち上げ花火で締めくくる。（足利直哉）



怒りの表情を見せながら登別温泉街を練り歩く「エンマ大王からくり山車」

2025年 8月31日（日） 朝刊 全道版 26ページ（記事は再編集しています）

- ① 登別地獄（のぼりべつじごく）まつりには、次のようなお話の設定（せってい）があります。
〔 〕に合う言葉を選（えら）んで完成（かんせい）させましょう。

「地獄谷」の地獄の〔 あ 〕が年に〔 い 〕度開き、
閻魔（えんま）大王が〔 う 〕を連（つ）れて温泉街に現（あらわ）れる。

ア. ふた イ. かま ウ. とびら エ. 2 オ. 1 カ. 3
キ. 犬 ク. 悪魔（あくま） ケ. 鬼（おに）

- ② 「エンマ大王からくり山車」について、（ ）に文中の言葉を入れましょう。
（あ）普段（ふだん）は（ ）に納（おさ）められている
（い）高さは約（ ）メートル
（う）目玉は動いて（ ）る

- ③ 記事の中で、小学2年生の「怖かった」というコメントが紹介されています。あなたは、「エンマ大王からくり山車」のどんなところが怖いと思いますか、写真を見て書きましょう。
（例）目がつり上がっていて、にらみつけているところ